

School

学び舎の窓から

輝け！元気っ子



第一小学校 6年
あかほりりょうすけ
赤堀 隼介 君

「ありがとう」は人を変える言葉

ぼくは、小学校で生活した中で、「ありがとう」を何回言ったのだろうか。1年生から5年生までは数えられるくらいしか言っていない。6年生になったら、あたりまえのことをやっただけで、「ありがとう」を何回も言ってもらえた。前の学年まであたりまえのことをしても「ありがとう」なんて言ってもらえなかった。うれしかった。「ありがとう」とは、こんなにいい気持ちに

してくれる言葉なんだ。「ありがとう」の大切さを知った。

今では、ぼくは、他の人があたりまえのことをしたら必ず、「ありがとう」と言っている。「ありがとう」とは、人を幸せにしてくれる言葉だ。そんな言葉をしてくれる友だちがいて、本当によかった。

これからも、必ず、あたりまえのことでも「ありがとう」を言いたい。「ありがとう」とは自分を変える言葉だ。

学校へようこそ

ほっかり いっぱい みさきっ子

御小は「ほっかり」いっぱい
の学校です。「ほっかり」とは、互いのよさに気づく温かな心。教育活動全体を通して、子どもたちの「ほっかり」を育んでいます。

教育活動は、子どもたちが、今日に満足し、明日を楽しみに待つ、未来への希望溢れる内容を計画し実践しています。御前崎の地を生かしたものも多く、特に自慢はアカウミガメの飼育です。昭和52年より受け継がれ、子どもたちは、暮れも正月も毎日世話をし、

命の尊さを学んでいます。また、潮干狩り遠足も自慢です。1～6年生の異年齢グループが、保護者の見守りのもと、協力しながら、磯を目指します。これらの活動には、「ほっかり」を育むとともに、海の命を学び、海に親しんだ子どもたちが、海を愛し、御前崎を誇りに想う人に育ててほしいという願いを込めています。

御小は「ほっかり」を支えに、「みがき合い」、「ささえ合い」、「きたえ合い」、伸びようとするみさきっ子がいっぱいです。



▶市立御前崎小学校
児童数 277人
校長 澤入眞佐義

